

第 25 回日本認知症学会学術集会プログラム

会長 中島 健二

鳥取大学医学部附属脳幹性疾患研究施設脳神経内科部門

開催日：平成 18 年 10 月 6 日（金）～ 10 月 7 日（土）

会 場：広島国際会議場（平和記念公園内）

目 次

| | | |
|-------------|-------|-----|
| 会場へのご案内 | | i |
| 学会参加者へのお知らせ | | iii |
| プログラム | | x |

第 25 回日本認知症学会学術集会事務局

鳥取大学医学部附属脳幹性疾患研究施設脳神経内科部門内

〒 683-8504 鳥取県米子市西町 36-1

Tel: 0859-38-6757 Fax: 0859-38-6759

E-mail: dementia2006@neurolog.med.tottori-u.ac.jp

広島国際会議場（平和記念公園内）

〒 730-0811 広島市中区中島町 1 番 5 号 Tel: 082-242-7777（代）

<http://www.pcf.city.hiroshima.jp/icch/>

広島国際会議場までの交通案内

広島駅から

【路線バス】（所要時間：約20分）

- 南口バス乗り場A - 3ホームより、広島バス24号線吉島（よしじま）営業所または、吉島（よしじま）病院行き「平和記念公園前」下車すぐ。

【市内電車】（所要時間：約20分）

- 広島港（宇品（うじな））行「袋町（ふくろまち）」下車、徒歩5分。
- 西広島（己斐（こい））, 江波（えば）, 宮島行「原爆ドーム前」下車、徒歩5分。

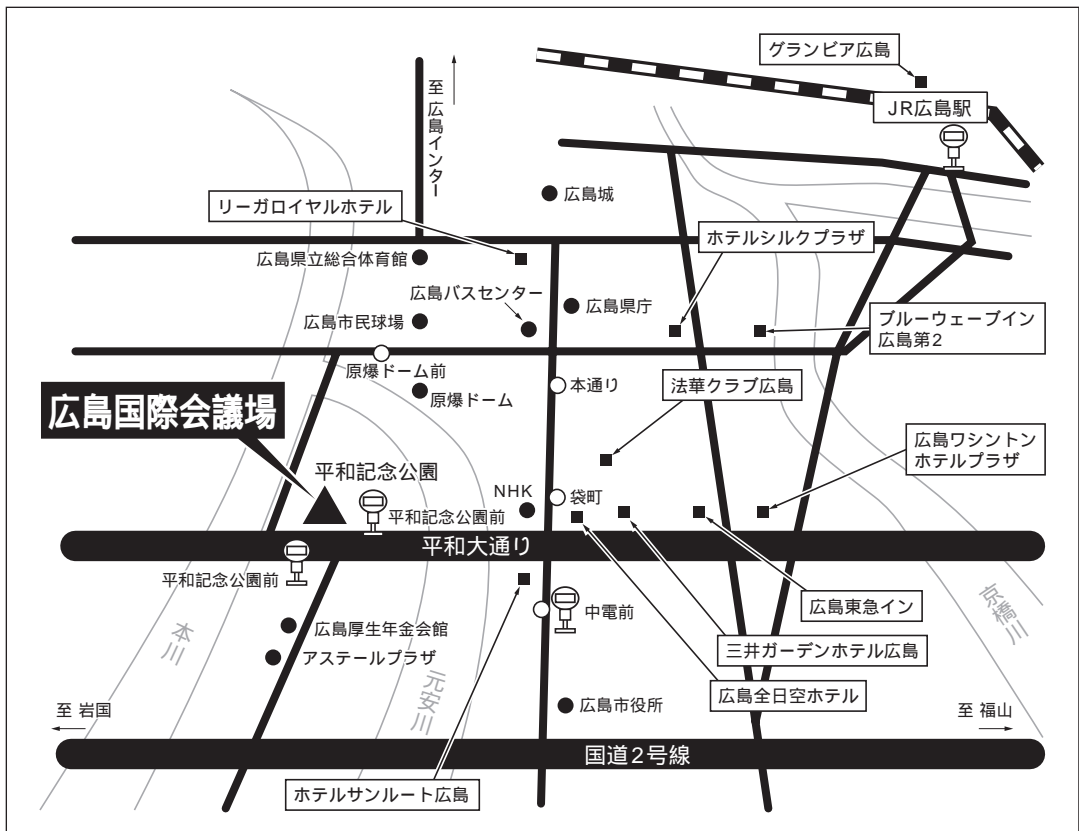
【タクシー】（所要時間：約15分）

広島空港から

【リムジンバス】（所要時間：約65分）

- 空港ターミナルビル1階到着フロア2番ホームより、広島バスセンター行「終点」下車、徒歩約5分。

【タクシー】（所要時間：約50分）



宿泊ホテルのご案内

| ホテル | 会場までの所要時間 | 場所 | 部屋タイプ | 宿泊料金 (朝食込み) | Check In / Out |
|--|---------------------|-------------------|-------------|-----------------------------|-----------------------|
| リーガロイヤルホテル広島 〒730-0011 広島市中区基町6-78 TEL:082-502-1121 FAX:082-228-5415 | 徒歩10分 タクシーで約4分 | 紙屋町電停 徒歩2分 | シングル ツイン | 12,600 10,500 | In 13:00 Out 11:00 |
| ホテルグランヴィア広島 〒732-0822 広島市南区松原町1-5 TEL:082-262-1111 FAX:082-262-4050 | 市電にて15分 徒歩5分 | 広島駅横 | シングル ツイン | 12,600 9,400 | In 13:00 Out 12:00 |
| 広島ワシントンホテルプラザ 〒730-0026 広島市中区田中町6-10 TEL:082-240-7111 FAX:082-240-5115 | 徒歩9分 | 平和大通り 袋町電停徒歩5分 | シングル ツイン | 9,400 8,900 | In 14:00 Out 10:00 |
| ホテルサンルート広島 〒730-0051 広島市中区大手町3-3-1 TEL:082-249-3600 FAX:082-249-3677 | 徒歩3分 | 中電前電停すぐ | シングル ツイン | 9,900 設定なし | In 13:00 Out 11:00 |
| 三井ガーデンホテル広島 〒730-0037 広島市中区中町9-12 TEL:082-240-1131 FAX:082-242-3001 | 徒歩5分 | 平和大通り 袋町電停徒歩3分 | シングル ツイン | 9,900 8,900 | In 14:00 Out 11:00 |
| 広島東急イン 〒730-0029 広島市中区三川町10-1 TEL:082-244-0109 FAX:082-245-4467 | 徒歩7分 | 平和大通り 袋町電停徒歩4分 | シングル ツイン | 8,900 6,800 | In 15:00 Out 10:00 |
| ホテルシルクプラザ 〒730-0013 広島市中区八丁堀14-1 TEL:082-227-8111 FAX:082-227-8110 | 市電にて5分 下車徒歩5分 | 八丁堀電停すぐ | シングル ツイン | 5,800 4,700 | In 16:00 Out 10:00 |
| 法華クラブ広島 〒730-0037 広島市中区中町7-7 Tel:082-248-3371 FAX:082-248-4799 | 徒歩5分 | 袋町電停徒歩1分 | シングル ツイン | 7,900 7,000 | In 15:00 Out 10:00 |
| ブルーウェーブイン広島第2 〒730-0016 広島市中区鞆町14-7 TEL:082-221-0002 FAX:082-223-1217 | 市電にて10分 下車徒歩5分 | 銀山町電停すぐ | シングル ツイン | 6,800 6,300 | In 15:00 Out 10:00 |
| 広島全日空ホテル 〒730-0037 広島市中区中町7-20 TEL:082-241-1111 FAX:082-241-9123 | 徒歩10分～15分 タクシー5分 | 袋町電停徒歩2分 | シングル ツイン | 10,395 19,635 (部屋代のみ) | In 13:00 Out 11:00 |

学会参加者へのお知らせ

1. 参加登録

10月5日(木) 16時30分～19時00分 広島国際会議場・地下2階ダリア前ロビー

10月6日(金)・7日(土) 8時15分～17時 広島国際会議場・地下2階ダリア前ロビー

参加費(5,000円)は当日受付でお支払い下さい。第6回国際老年精神神経薬理学会学術集会(ICGP2006)にご参加の方で事前参加登録された方は、認知症学会参加登録証を第25回認知症学会受付でご提示下さい。

領収書付参加証をお渡ししますので、会場内では必ず胸にお付けください。

注) ICGP との合同開催は10月6日(金)のプログラムのみです。日本認知症学会学術集会のみに参加される方は4日(水)、5日(木)のICGPへはご参加頂けません。

2. 抄録集

抄録は学会誌 Dementia Japan 第20巻第2号に掲載されます。非会員の方は学会場にてお買い求め下さい(一冊3,000円)。数に限りがございますので、会員の方は必ずご持参下さい。

3. あり方委員会

日 時：平成18年10月5日(木)13時00分～15時00分

場 所：ラン (広島国際会議場・地下2階)

4. 編集委員会

日 時：平成18年10月5日(木)15時00分～15時30分

場 所：ラン (広島国際会議場・地下2階)

5. 理事会

日 時：平成18年10月5日(木)15時30分～17時30分

場 所：ラン (広島国際会議場・地下2階)

6. 評議員会

日 時：平成18年10月5日(木)18時00分～19時30分

場 所：コスモス (広島国際会議場・地下2階)

注)本年度の評議員会は学術集会前日(10月5日(木))に開催致します。

7. 総 会

日 時：平成18年10月7日(土)13時15分～14時15分

場 所：ヒマワリ(広島国際会議場・地下2階)

8. 学術奨励賞選考委員会

日 時：平成18年10月7日(土)12時00分～13時00分

場 所：ラン (広島国際会議場・地下2階)

9. 演者へのお知らせ（ポスター）

9-1 ポスター展示期間

10月6日（金）～7日（土）の2日間通して展示します。

ポスターは10月6日（金）午前9時～午前11時までの間に、ポスター会場の指定された場所に貼ってください。パネルはポスター番号順に設置されています。

撤去は10月7日（土）のポスターセッションが終了した後、同日16時00分までに済ませてください。

9-2 ポスター掲示板サイズ

ヨコ90cm，タテ180cmです。

演題名，所属，発表者名は各自でご用意ください。

ポスター番号は事務局で用意します。

9-3 ポスターセッション

ポスターセッション

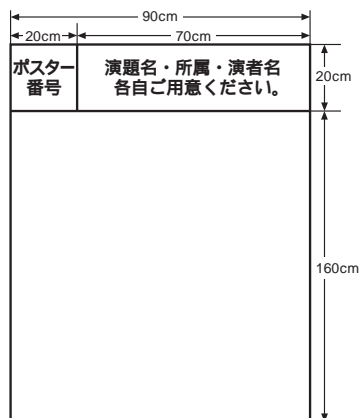
10月6日（金）13時30分～15時00分

広島国際会議場・地下1階 会議運営事務局

ポスターセッション

10月7日（土）11時00分～12時00分

広島国際会議場・地下1階 会議運営事務局



* 指定されたセッションの時間帯にポスター前でご討論ください。

* 発表時間や座長は指定しておりませんので、活発に自由討論ください。

* 10月6日のポスターセッションにはICGP2006の参加者の皆様も討論にご参加頂くため、今年度の学術集会では英語でのポスター作成をお願いします。

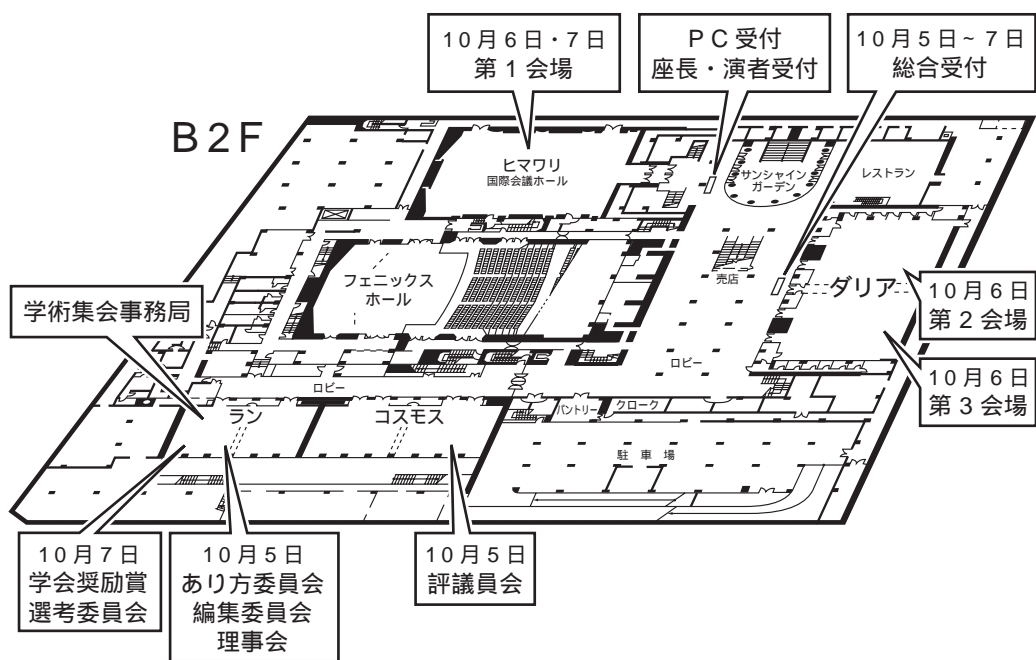
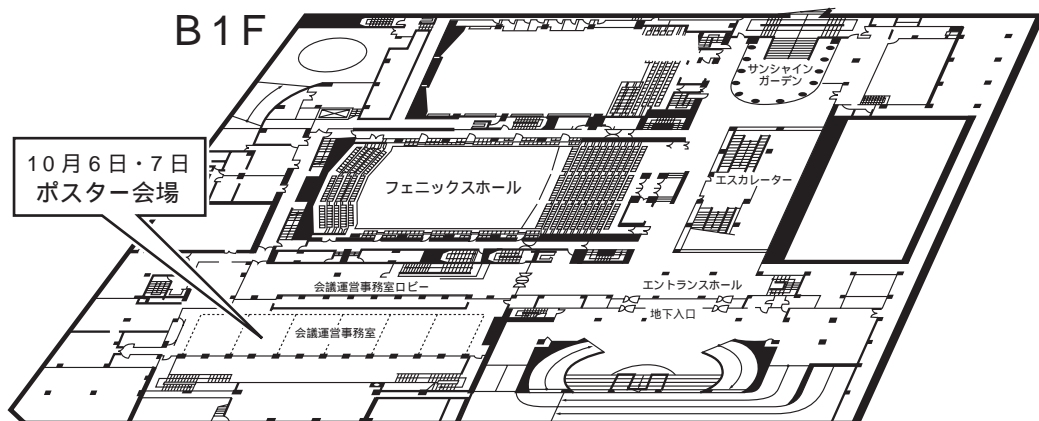
10. シンポジストの先生方へ

打ち合わせをさせていただきますので、各シンポジウムの30分前までに演者受付（地下2階ヒマワリ前）にお越しください。発表形式は液晶プロジェクターでPowerPoint（WindowsまたはMacintosh）のみとさせていただきます。データは1．CD-R（ISO9660形式）、2．USBフラッシュメモリー（USBマス・ストレージクラス準拠のもの）、3．ご自身のコンピューターのうち、必ず2つ以上に保存してお持ちください。

11. 座長の先生方へ

座長受付（地下2階ヒマワリ前）に15分前までに座長受付をお済ませの上、次座長席にて待機して頂きますようお願い致します。

広島国際会議場



総合受付：10月5日～7日 ダリア前ロビー（B2F）

PC 受付：ヒマワリ前ロビー（B2F）

座長・演者受付：ヒマワリ前ロビー（B2F）

第1会場：ヒマワリ，第2会場：ダリア ，第3会場：ダリア （B2F）

ポスター会場：会議運営事務室（B1F）

学術集会事務局：ラン （B2F）

タイムスケジュール

| 前日 | | | 学術集会1日目 | | |
|----------|-------------|-----------|-------------|----------------------------|---------|
| 10月5日(木) | | | 10月6日(金) | | |
| 9 | | | 8:30 | 開場 | |
| | | | 8:55 | 会長挨拶 | |
| 10 | | | 9:00-10:50 | シンポジウム (ICGP合同開催) | ヒマワリ |
| 11 | | | 11:00-11:45 | 合同セミナー | ヒマワリ |
| | | | 11:45-12:30 | 合同セミナー | |
| 12 | | | 12:30-13:30 | ランチョンセミナー (ICGP合同開催・英語) | ヒマワリ |
| 13 | 13:00-15:00 | あり方委員会 ラン | 12:30-13:30 | ランチョンセミナー (JSDR主催・日本語) | ダリア + |
| 14 | | | 13:30-15:00 | ポスターセッション | 会議運営事務局 |
| 15 | 15:00-15:30 | 編集委員会 ラン | 15:00-17:00 | シンポジウム (ICGP合同開催) | ヒマワリ |
| 16 | 15:30-17:30 | 理事会 ラン | | | |
| 17 | | | 17:15-19:00 | サテライトシンポジウム | |
| 18 | 18:00-19:30 | 評議員会 コスモス | | サテライトシンポジウム | ダリア |
| 19 | | | | サテライトシンポジウム | ダリア |
| 20 | | | 19:15 | 情報交換会 | ヒマワリ |

| 学術集会2日目 | | |
|----------|-------------|----------------|
| 10月7日(土) | | |
| 9 | 8:15 | 開場 |
| | 8:30- 9:30 | モーニングセミナー ヒマワリ |
| 10 | 9:30-11:00 | シンポジウム ヒマワリ |
| 11 | 11:00-12:00 | ポスターセッション |
| 12 | 12:00-13:00 | ランチョンセミナー ヒマワリ |
| 13 | 12:00-13:00 | 学会奨励賞選考委員会 ラン |
| 14 | 13:15-14:15 | 総会 ヒマワリ |
| | | (学会奨励賞授与式を含む) |
| 15 | 14:20-14:40 | 会長講演 ヒマワリ |
| | 14:45-17:15 | 特別シンポジウム ヒマワリ |
| 16 | | |
| 17 | 17:20 | 閉会の辞 |
| 18 | | |
| 19 | | |
| 20 | | |

10月5日(木) 前日

| 広島国際会議場 | |
|---------|-----------------------|
| コスモス | ラン |
| 8:00 | |
| 9:00 | |
| 10:00 | |
| 11:00 | |
| 12:00 | |
| 13:00 | |
| 14:00 | 13:00-15:00 あり方委員会 |
| 15:00 | 15:00-15:30 編集委員会 |
| 16:00 | 15:30-17:30 理事会 |
| 17:00 | |
| 18:00 | 18:00-19:30 評議員 |
| 19:00 | |
| 20:00 | |
| 21:00 | |

10月6日(金) 学術集会1日目

| 広島国際会議場 | | | | | |
|---------|---|----------------------------|----------------------------|--------------------------|------------|
| | ヒマワリ | ダリア | ダリア | 会議運営事務局1-6 | 会議運営事務局前廊下 |
| | 第1会場 | 第2会場 | 第3会場 | ポスター会場 | メーカー展示会場 |
| 8:00 | | | | | |
| | 8:55 会長挨拶 | | | | |
| 9:00 | 9:00-10:50(PS-9) シンポジウム (ICGP 合同開催) | | | ポスター展示 | |
| 10:00 | | | | | |
| 11:00 | 11:00-11:45 合同セミナー | | | | |
| 12:00 | 11:45-12:30 合同セミナー | | | | |
| 13:00 | 12:30-13:30 ランチョンセミナー | 12:30-13:30 ランチョンセミナー | | | |
| 14:00 | | | | 13:30-15:00 ポスターセッション | メーカー展示 |
| 15:00 | 15:00-17:00 シンポジウム (ICGP 合同開催) | | | | |
| 16:00 | | | | | |
| 17:00 | | 17:15-19:00 サテライトシンポジウム | 17:15-19:00 サテライトシンポジウム | | |
| 18:00 | | | | | |
| 19:00 | 19:15-20:45 情報交換会 | | | | |
| 20:00 | | | | | |
| 21:00 | | | | | |

10月7日(土) 学術集会2日目

| 広島国際会議場 | | | | |
|---------|--------------------------|--------------------------|------------|-------------------------------|
| | ヒマワリ | 会議運営事務局1-6 | 会議運営事務局前廊下 | ラン |
| | 第1会場 | ポスター会場 | メーカー展示会場 | |
| 8:00 | | | | |
| 9:00 | 8:30-9:30 モーニングセミナー | ポスター展示 | メーカー展示 | |
| 10:00 | 9:30-11:00 シンポジウム | | | |
| 11:00 | | 11:00-12:00 ポスターセッション | | |
| 12:00 | 12:00-13:00 ランチョンセミナー | | | 12:00-13:00 学会奨励賞 選考委員会 |
| 13:00 | 13:15-14:15 総会 | | | |
| 14:00 | 14:20-14:40 会長講演 | | | |
| 15:00 | 14:45-17:15 特別シンポジウム | | | |
| 16:00 | | | | |
| 17:00 | 17:20 閉会の辞 | | | |
| 18:00 | | | | |
| 19:00 | | | | |
| 20:00 | | | | |
| 21:00 | | | | |

企画プログラム一覧

シンポジウム (ICGP 合同開催)

「Inflammation, depression and dementia」

10月6日(金) 9時00分～10時50分(ヒマワリ)

座長: Alan Thomas (The University of Newcastle, UK)

阿部 康二 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 神経病態内科学)

1. Alan Thomas (The University of Newcastle, UK)
“ Inflammatory changes in late-life depression ”
2. Clive Holmes (University of Southampton, UK)
“ The role of inflammation in the progression of Alzheimer's disease ”
3. Jonathan P. Godbout (The Ohio State University, USA)
“ The role of inflammatory disease in dementia and depression ”
4. 秋山 治彦 (東京都精神医学総合研究所)
“ Inflammatory reaction in neurodegenerative diseases ”

シンポジウム (ICGP 合同開催)

「Alzheimer's disease: from benchside to clinics」

10月6日(金) 15時00分～17時00分(ヒマワリ)

座長: 岩坪 威 (東京大学大学院薬学系研究科 臨床薬学)

Harald Hampel (University of Munich, Germany)

1. 富田 泰輔 (東京大学大学院薬学系研究科 臨床薬学)
“ Structure and function of γ -secretase complex ”
2. Peter St. George-Hyslop (University of Toronto, Canada)
“ TIMP21: a γ -secretase complex component that inhibits γ -cleavage but not ϵ -cleavage ”
3. Michael W. Weiner (University of California, San Francisco, USA)
“ Early detection and monitoring of Alzheimer's disease with MRI: The Alzheimer's disease neuroimaging initiative ”

シンポジウム

「シヌクレオパチーの臨床と基礎研究」

10月7日(土) 9時30分～11時00分(ヒマワリ)

座長: 葛原 茂樹 (三重大学医学部 神経内科)

小阪 憲司 (横浜市立大学名誉教授, 聖マリアンナ医学研究所所長)

1. 小阪 憲司 (横浜市立大学名誉教授, 聖マリアンナ医学研究所所長)
“ シヌクレオパチー Overview ”
2. 和田 健二 (鳥取大学医学部附属脳幹性疾患研究施設 脳神経内科部門)
“ シヌクレオパチーの臨床 ”

3. 村山 繁雄 (東京都老人総合研究所 老年病ゲノム・高齢者ブレインバンク)
“ シヌクレオパチーの病理 ”
4. 長谷川 成人 (東京都精神医学総合研究所 分子神経生物学研究チーム)
“ シヌクレオパチーの基礎研究 ”

特別シンポジウム～アルツハイマー病 100 周年記念～

「本邦におけるアルツハイマー病研究の歩みと最近の動向」

10月7日(土) 14時45分～17時15分(ヒマワリ)

座長: 平井 俊策 (日本認知症学会名誉理事)

中島 健二 (鳥取大学医学部附属脳幹性疾患研究施設 脳神経内科部門)

1. 石井 毅 (日本認知症学会名誉理事)
“ 昭和30年代のアルツハイマー病の脳の神経病理学的, 組織化学的, 免疫組織化学的研究 ”
2. 西村 健 (大阪大学名誉教授, 甲子園短期大学学長)
“ アルツハイマー病における脳水溶性蛋白の不溶化 ”
3. 井原 康夫 (東京大学大学院医学系研究科 神経病理学)
“ わが国におけるアルツハイマー病研究 - 70年代から90年まで ”
4. 岩坪 威 (東京大学大学院薬学系研究科 臨床薬学)
“ アルツハイマー病: 基礎研究から根本治療・予防法の実現に向けて ”
5. 西道 隆臣 (理化学研究所脳科学総合研究センター 神経蛋白質制御研究チーム)
“ アミロイド代謝制御とアルツハイマー病 ”

JSDR & ICGP 合同開催セミナー

10月6日(金) 11時00分～11時45分(ヒマワリ)

座長: 山脇 成人 (広島大学大学院医歯薬総合研究科 精神神経医学)

Peter J. Whitehouse (Case Western Reserve University, USA)

“ Reflecting on 100 years of Alzheimer's: the global impact on quality of life ”

JSDR & ICGP 合同開催セミナー

10月6日(金) 11時45分～12時30分(ヒマワリ)

座長: 中島 健二 (鳥取大学医学部附属脳幹性疾患研究施設 脳神経内科部門)

武田 雅俊 (大阪大学大学院医学研究科 精神医学)

“ Drug development to Alzheimer's disease ”

会長講演

10月7日(土) 14時20分～14時40分(ヒマワリ)

座長：高橋 和郎(鳥取大学名誉教授)

中島 健二(鳥取大学医学部附属脳幹性疾患研究施設 脳神経内科部門)

“臨床現場から振り返る認知症研究の進歩”

サテライトシンポジウム(ICGP 合同開催)

エーザイ株式会社/ファイザー株式会社共催

・「Successful Aging: From genes to behavior」

10月6日(金) 17時15分～19時00分(ダリア)

座長：Dilip V. Jeste (University of California, San Diego, USA)

大内 尉義(東京大学大学院医学系研究科 加齢医学)

1. Dilip V. Jeste (University of California, San Diego, USA)

“A psychobiosocial study of successful aging in 1,500 San Diegans”

2. Bradley J. Willcox (University of Hawaii, USA)

“Substantial genetic advantage for longevity in Okinawa”

3. 工藤 喬(大阪大学大学院医学研究科 精神医学)

“Genetics of neurocognitive aging”

4. Osvaldo P. Almeida (University of Western Australia, Australia)

“Health Ageing: Results from the Health in Men Study (HIMS) in Australia”

・「Subclinical Mild Cognitive Impairment: Where are we?」

10月6日(金) 17時15分～19時00分(ダリア)

座長：Jung Hie Lee (Korea)

Roger Bullock (Kingshill Research Centre, UK)

1. 目黒 謙一(東北大学大学院医学系研究科 高齢者高次脳医学)

“Prevalence and cognitive performances of MCI: the Osaki-Tajiri Project”

2. Ki Woong Kim (Seoul National University, Korea)

“Cognitive impairment recognized by self and/or informant report without objective cognitive impairment”

3. Harald Hampel (University of Munich, Germany)

“Biological markers and MR-based imaging methods for integrated clinical research in AD and MCI”

4. Roger Bullock (Kingshill Research Centre, UK)

“Clinical and therapeutic implications of Mild Cognitive Impairment”

*情報交換会(立食形式)を同日19時15分よりヒマワリで行います。

ランチョンセミナー (ICGP 主催) 日本イーライリリー株式会社共催

10月6日(金) 12時30分～13時30分(ヒマワリ)

座長：山脇 成人 (広島大学大学院医歯薬総合研究科 精神神経医学)

Lon S. Schneider (University of Southern California Keck School of Medicine, USA)

“ New considerations on the pharmacotherapy of psychosis in late life ”

ランチョンセミナー (JSDR 主催) ヤンセン ファーマ株式会社共催

10月6日(金) 12時30分～13時30分(ダリア +)

座長：水澤 英洋 (東京医科歯科大学大学院 脳神経機能病態学)

羽生 春夫 (東京医科大学 老年病科)

“ 実践・認知症の診断と治療 - 画像診断を中心に - ”

ランチョンセミナー エーザイ株式会社/ファイザー株式会社共催

10月7日(土) 12時00分～13時00分(ヒマワリ)

座長：武田 克彦 (国際医療福祉大学附属三田病院 神経内科)

田邊 敬貴 (愛媛大学大学院医学系研究科 脳とこころの医学)

“ ヒトミで分かる認知症 - Part 2 - ”

モーニングセミナー 第一製薬株式会社共催

10月7日(土) 8時30分～9時30分(ヒマワリ)

座長：山田 正仁 (金沢大学大学院医学系研究科 脳老化・神経病態学)

齋藤 正彦 (慶成会老年学研究所)

“ 認知症の診断と治療・予後 - 成年後見制度・地域福祉権利擁護事業の活用も含めて - ”

***軽食とお飲みものをご用意致します。**

ポスター発表

B1F 会議運営事務室

セッション

<画像(1)>

10月6日(金) 13時30分~15時00分

- A1 The evidence of neural network disruption in mild cognitive impairment - MR diffusion tensor imaging study-
Chubu medical center, Kizawa memorial hospital Ayumi Okumura
- A2 Evaluation of gray and white matter changes in Mild Cognitive Impairment using 3T MRI
Department of Neurology, Iwate Medical University, Iwate, Japan Satoshi Takahashi
- A3 In vivo imaging of amyloid plaques in the brain: [11C]BF-227 PET study.
Department of Pharmacology, Tohoku University School of Medicine, Sendai, Japan
Nobuyuki Okamura

<アミロイド(1)>

10月6日(金) 13時30分~15時00分

- B1 The interaction of α 1-chimaerin protein with β -amyloid in culture cells
Molecular Neuroscience Research Center, Shiga University of Medical Science,
Shiga, Japan Ikuo Tooyama
- B2 Effects of human apoE isoforms on the $A\beta$ concentration and lipid composition in low-density membrane domains of the brain
Department of Neuropathology, Faculty of Medicine, University of Tokyo, Tokyo,
Japan Maho Morishima
- B3 Increased expression of Toll like receptor 3 in amyloid beta-treated cells and Alzheimer's brain
Division of Psychiatry, Osaka University Graduate School of Medicine
Toshihisa Tanaka
- B4 Identification of Alzheimer-specific amyloid beta-derived products recognized by panel of antibodies
Alzheimer's Dis. Res. Group, Mitsubishi Kagaku Inst. Life Sci., Tokyo, Japan
Dept. Neurology, Tokyo Medical & Dental Univ, Tokyo, Japan
Mutsufusa Watanabe
- B5 $A\beta$ and tau form soluble complexes that may promotes self aggregation of both into the insoluble forms observed in Alzheimer's disease
Department of Psychogeriatrics, Tokyo Institute of Psychiatry Tetsuaki Arai

< AD・病態(1) >

10月6日(金) 13時30分~15時00分

- C1 Choroid plexus proteome analysis in Alzheimer disease
Choju Medical Institute, Fukushima Hospital, Toyohashi, Japan Hiroyasu Akatsu
- C2 Genetic association of dynamin-binding protein gene with late-onset Alzheimer's disease
Niigata Univ. Ryozo Kuwano
- C3 Mechanism of glycosylation using of Con A in Alzheimer's disease
Department of Biological Regulation, Faculty of Medicine, Tottori University, Yonago, Japan Yuki Hashimoto
- C4 Analysis of cerebrospinal fluid glycoprotein as new biomarker of Alzheimer's disease
Department of Biological Regulation, Faculty of Medicine, Tottori University, Yonago, Japan Miyako Taniguchi
- C5 Immunohistochemical analysis of proteins related to aging and Alzheimer's disease in the retina
Department of Psychiatry, Juntendo University School of Medicine, Tokyo, Japan Tadashi Takahashi

< シヌクレイン(1) >

10月6日(金) 13時30分~15時00分

- D1 Effect of α -synuclein on microtubule assembly
Department of Molecular Neurobiology, Tokyo Institute of Psychiatry, Tokyo, Japan
Department of Biological Science, Graduate School of Science, Tokyo Metropolitan University, Tokyo, Japan Takayuki Oikawa
- D2 Small molecule inhibitors of α -synuclein filament assembly
Department of Molecular Neurobiology, Tokyo Institute of Psychiatry, Tokyo, Japan
Molecular Neuroscience Laboratory, Graduate School of Science, Tokyo Metropolitan University, Tokyo, Japan Masami Masuda
- D3 Inhibition of the proteasome activity by alpha-synuclein in SH-SY5Y cells
Department of Molecular Neurobiology, Tokyo Institute of Psychiatry Takashi Nonaka
- D4 CK2 is the major enzyme in brain that generates P_{Ser129} epitope of α -synuclein:
Department of Molecular Neurobiology, Tokyo Institute of Psychiatry, Tokyo, Japan Masato Hasegawa

<シヌクレイン(2)>

10月6日(金) 13時30分~15時00分

- E1 Biochemical analysis of the core structures of wild type and mutant α -synuclein filaments
Department of Molecular Neurobiology, Tokyo Institute of Psychiatry, Tokyo, Japan
Department of Biological Science, Graduate School Science and Engineering, Tokyo Metropolitan University, Tokyo, Japan
Motokuni Yonetani
- E2 Accumulation of phosphorylated alpha-synuclein in the striatum of Lewy body diseases
Department of Neurology, Juntendo University
Kimiko Obi
- E3 Parkinson's disease with hallucinations is closely related to PDD in executive dysfunction.
Department of Neurology, Institute of Neurological Sciences, Faculty of Medicine, Tottori University, Yonago, Japan
Keiko Imamura
- E4 CSF orexin levels in patients with PD, DLB, PSP and CBD
Department of Neurology, Institute of Neurological Sciences, Faculty of Medicine, Tottori University, Yonago, Japan
Kenichi Yasui

<治療(1)>

10月6日(金) 13時30分~15時00分

- F1 Yokukansan inhibits memory disturbance, anxiety and neurological symptoms in thiamine-deficient rats
Central Research Laboratory, Tsumura & Co., Ibaraki, Japan
Yasushi Ikarashi
- F2 Aromatherapy can improve the cognitive functions in patients with Alzheimer's disease.
Section of Environment and Health Science, Department of Biological Regulation, School of Health Science, Faculty of Medicine, Tottori University
Department of Neurobiology, School of Life Science, Faculty of Medicine, Tottori University
Daiki Jimbo
- F3 Use of the Quality of Life Index among elderly with early-stage dementia
Department of Nursing Science, Faculty of Health Sciences, Tokyo Metropolitan University, Tokyo, Japan
Towako Katsuno

<プレセニリン・セクレターゼ(1)>

10月6日(金) 13時30分~15時00分

- G1 In vitro reconstitution of the three-dimensional structure of gamma-secretase complex
Department of Neuropathology and Neuroscience, Graduated School of Pharmaceutical Sciences, The University of Tokyo
Hiroyuki Miyashita

- G2 Proteomic approach to understanding functional proteins of gamma-42 cleavage
Department of Psychiatry, Osaka University Graduate School of Medicine, Osaka,
Japan Takashi Oguri
- G3 Analysis of the molecular mechanism of γ -secretase using small molecule
compounds as a molecular probe
Department of Neuropathology and Neuroscience, Graduate School of
Pharmaceutical Sciences, The University of Tokyo Yasuaki Sugimoto
- G4 The mechanism of APP cleavage by γ -secretase: To test the tripeptide hypothesis
using LCMSMS
Department of Neuropathology, Faculty of Medicine, University of Tokyo, Tokyo,
Japan Mako Takami
- G5 Effects of multiple factors on the precision of Presenilin-dependent
intramembranous proteolysis.
Psychiatry and Behavioral Science, Osaka University Graduate School of Medicine,
Suita, Osaka, Japan Shinji Tagami

<プレセニリン・セクレターゼ(2)>

10月6日(金) 13時30分~15時00分

- H1 Characterization of membrane bound intracellular fragment of APP (AICD)
Tokyo Institute of Psychiatry, Tokyo Metropolitan Organization for Medical Research
Fuyuki Kametani
- H2 FAD-linked Presenilin-1 mutations reduce total γ -secretase activity with increase
the ratio of A β 42/A β 40.
Laboratory for Alzheimer's Disease, Brain Science Institute, RIKEN, Saitama, Japan
Department of Life Science, Tokyo Institute of Technology, Yokohama, Japan
Masafumi Shimojo
- H3 Stepwise processing of β CTF in A β production: Analysis using lipid rafts
Department of Neuropathology, Faculty of Medicine, University of Tokyo, Tokyo,
Japan
Department of Life Science, Graduate School of Arts and Science, University of
Tokyo, Tokyo, Japan Sousuke Yagishita
- H4 Characterization of primary secretase-like cleavages of Alcadein
Graduate School of Pharmaceutical Sciences Hokkaido University, Sapporo, Japan
Sayaka Fujishige
- H5 Deficiency in presenilin-1 and -2 promotes maturation and cell surface expression
of integrin β 1
Department of Alzheimer's Disease Research, National Institute for Longevity
Sciences, NCGG, Obu, Japan
Japan Society for the Promotion of Science (JSPS), Tokyo, Japan Kun Zou

<アミロイド(2)>

10月6日(金) 13時30分~15時00分

- I1 Anti-parkinsonian agents have anti-amyloidogenic activity for Alzheimer's β -amyloid fibrils in vitro
Department of Neurology and Neurobiology of Aging, Kanazawa University
Graduate School of Medical Science, Kanazawa, Japan Kenjiro Ono
- I2 Molecular mechanisms underlying anti-amyloidogenic effects of flavonoids
Department of Neurology and Neurobiology of Aging, Kanazawa University
Graduate School of Medical Science, Kanazawa, Japan Mie Hirohata
- I3 A generic amyloid oligomer conformation mediates both aggregation and anti-aggregation. Implication for a common mechanism in two opposing processes.
Lab. for Alzheimer's disease, RIKEN Brain Science Institute, Saitama, Japan
Yuji Yoshiike
- I4 Absence of synaptophysin near cortical neurons containing oligomer $A\beta$ in Alzheimer's disease brain
Department of Neuroscience, Graduate School of Medicine Osaka City University,
Osaka, Japan Takami Tomiyama

<アミロイド(3)>

10月6日(金) 13時30分~15時00分

- J1 Inhibition of Amyloid- β Production By Endoplasmic Reticulum Chaperones
Graduate School of Medical and Pharmaceutical Sciences, Kumamoto University,
Kumamoto, Japan Tatsuya Hoshino
- J2 Internalization and degradation of $A\beta$ by a human hepatoma cell line HepG2 through a suramin-sensitive, LRP-1/apoE-independent mechanism
Department of Neuropathology and Neuroscience, Graduate School of
Pharmaceutical Sciences, University of Tokyo Chiori Yabuki
- J3 Effects of nitrating agents on Amyloid- β generation
Psychiatry, Department of Integrated Medicine, Osaka University Graduate School
of Medicine, Osaka, Japan Kohji Mori
- J4 Time-dependent morphological alterations of dissolved synthesized amyloid-beta peptide
Department of Clinical Pharmacology, Faculty of Pharmaceutical Sciences, Fukuoka
University, Fukuoka, Japan Kazuyuki Machida

<アミロイド(4)>

10月6日(金) 13時30分~15時00分

- K1 A β upregulates BDNF production from astrocytes: rescue from A β -related neuritic degeneration
Laboratory of Disease Control, Tsukuba Primate Research Center, National Institute of Biomedical Innovation Nobuyuki Kimura
- K2 Activation of NF- κ B and AP-1 in astrocytes exposed to β -amyloid and their regulation by poly(ADP-ribose) polymerase-1
Laboratory of Molecular Clinical Chemistry, Faculty of Pharmacy, Osaka Ohtani University, Osaka, Japan Seigo Tanaka
- K3 Detoxification of 4-hydroxy-2-nonenal by ABAD
Department of Biochemistry and Cell Biology, Institute of Development and Aging Sciences, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School, Japan
Department of Biochemistry, Kyoritsu University of Pharmacy, Japan Yayoi Murakami
- K4 Development of New Mouse Amyloid beta ELISA systems and Determination of Endogenous Abeta Level in wild type mouse
Immuno-Biological Laboratories Co., Ltd. Yuko Horikoshi

<アミロイド(5)>

10月6日(金) 13時30分~15時00分

- L1 Non-viral A β DNA vaccine therapy of Alzheimer disease. The relationship of A beta reduction and microglial activation
Department of Molecular Neuropathology, Tokyo Metropolitan Institute for Neuroscience Yoh Matsumoto
- L2 Immune response to A β 40 and tolerance to A β 42 occur naturally without relationship to brain A β burden
Department of Neurology, Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmacology Takeshi Kawarabayashi
- L3 Prostaglandin E₂ synthesis is associated with Alzheimer's disease pathology and is suggestive of pathogenic potency
Department of Clinical Pharmacology, Faculty of pharmaceutical Sciences, Fukuoka University, Fukuoka, Japan Yoshiharu Akitake
- L4 Expression profile pathology of APP Tg mice is enhanced by low omega-3 polyunsaturated fatty acid diet: synapse is the intersection of the disease and diet
Department of Psychiatry, Osaka University Graduate School of Medicine, Suita, Osaka, Japan Takashi Morihara

- L5 A statin protects Abeta-induced memory impairment in mice
 Department of Geriatric medicine and Department of Nephrology, Osaka University
 Graduate School of Medicine, Osaka, Japan
 Department of clinical gene therapy, Osaka University Graduate School of Medicine,
 Osaka, Japan Hitomi Kurinami

<モデルマウス>

10月6日(金) 13時30分~15時00分

- M1 Pathogenic metabolism of APP in X11L-deficient and X11/X11L double-deficient mice
 Laboratory of Neuroscience, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Hokkaido University, Sapporo, Japan Yuhki Saito
- M2 Novel type mouse model for Alzheimer's Disease
 Laboratory for proteolytic neuroscience, RIKEN Brain Science Institute, Saitama, Japan Takashi Saito
- M3 Pathological roles of CLAC in β -amyloid deposition in the brains of transgenic mice
 Department of Neuropathology and Neuroscience, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, University of Tokyo Daisuke Fujii
- M4 Brain degeneration and decline in spatial cognitive ability in ALDH2-deficient mice
 Department of Biochemistry and Cell Biology, Institute of Development and Aging Sciences, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School, Kawasaki, Japan Ikuroh Ohsawa

<タウ>

10月6日(金) 13時30分~15時00分

- N1 Excitatory Amino Acid Transporter, EAAT2, Associates With Phosphorylated Tau And Neurofibrillary Tangles In Tauopathy.
 Tokyo Rinkai Hospital Hideeki Shimura
- N2 Age-dependent induction of neurofibrillary tangles in transgenic mice overexpressing a non-mutant human tau isoform
 Department of Neuropsychiatry, Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences Etsuko Oshima
- N3 Tau pathology of CHIP knockout and tau transgenic crossbreeding mice
 Laboratory for Alzheimer's Disease, RIKEN Brain Science Institute, Wako-shi, Japan Naruhiko Sahara
- N4 Enhanced tau pathology, cerebral atrophy and iron deposition induced repetitive mild brain injury in a tau transgenic mouse
 Clinical Research Center, Chiba East National Hospital, Chiba, Japan Yasumasa Yoshiyama

- N5 Immunoreactivity of granular tau oligomers with conformation dependent antibodies.

RIKEN Brain Science Institute Laboratory for Alzheimer's disease Sumihiro Maeda

- N6 Immunohistochemical study on the isoform of tau protein in amyotrophic lateral sclerosis/parkinsonism-dementia complex of the Kii peninsula of Japan

Department of Neurology, Mie University Graduate School of Medicine, Mie, Japan

Yasumasa Kokubo

<変性疾患(1)>

10月6日(金) 13時30分~15時00分

- O1 Mutant alpha-synuclein causes membrane perturbation

Center for Asian Traditional Medicine, School of Medicine, Tohoku University,
Sendai, Japan

Katsutoshi Furukawa

- O2 Subcellular localization and function of PINK1

Department of Neuropathology and Neuroscience, Graduate School of
Pharmaceutical Sciences, University of Tokyo, Tokyo, Japan

Sho Takatori

- O3 D-β-hydroxybutyrate (bHB) protected differentiated SH-SY5Y neuronal cells from the rotenone-induced mitochondrial impairment

Neurology, Institute of Neurological Sciences, Tottori University Faculty of Medicine,
Yonago, Japan

Takao Takeshima

- O4 Increased autophagy is observed in Niemann-Pick disease type C cells

Department of Neurology, Gunma University, Graduate School of Medicine

Seiya Ishibashi

<変性疾患(2)>

10月6日(金) 13時30分~15時00分

- P1 Clinical evaluation of Parkinson's disease with dementia: focusing on the association of dementia with aging and visual hallucination

Department of Neurology, Institute of Neurological Sciences, Faculty of Medicine,
Tottori University, Japan

Michio Kitayama

- P2 Development of a novel hallucination rating scale for Parkinson's disease and dementia with Lewy bodies: Tottori University Hallucination Rating Scale (TUHARS)

Department of Neurology, Institute of Neurological Sciences, Tottori University,
Yonago, Japan

Kuniko Ohta

- P3 A case of probable dementia with Lewy bodies, who showed occipital hyperperfusion on brain SPECT during visual hallucination

Department of Neurology, Institute of Neurological Sciences, Faculty of Medicine,
Tottori University, Yonago, Japan

Hisanori Kowa

< 臨床 (1) >

10月6日(金) 13時30分~15時00分

- Q1 Vitamin C, E and total homocysteine associate with cognitive function; the population based study in a Japanese rural town
Department of Neurology, Tottori University Masayoshi Kusumi
- Q2 Are the MCI patients increased in the Diabetes Mellitus?
Department of Geriatrics and Neurology, Osaka city university medical school,
Osaka, Japan Hiroyuki Shimada
- Q3 Neurophysiological Cholinergic Circuit Evaluation in Mild Cognitive Impairment and Primary Degenerative Dementia
Division of Neurology, Institute of Neurological Sciences, Faculty of Medicine,
Tottori University Kenji Sakuma

< 画像 (2) >

10月6日(金) 13時30分~15時00分

- R1 FDG uptake per gray matter tissue in medial temporal lobe is relatively increased in patients with mild Alzheimer's disease
Dept. of Neurology and Neurobiology of Aging, Kanazawa University Graduate
School of Medical Science, Kanazawa, Japan Miharu Samuraki
- R2 Prevention of leukoaraiosis progress by correcting the platelet hyper-aggregability. A volumetric comparison study between correcting and non-correcting group
Institute for Advanced Neurological Medicine and Computed Imaging,
Ishikawa Hospital, Japan Shigekiyo Fujita

セッション

< 画像 (3) >

10月7日(土) 11時00分~12時00分

- A1 **健常者脳血流SPECTにおける eZIS (eazy Z-score Imaging System) の問題点**
延山会西成病院 内科 宮本 礼子
- A2 **アルツハイマー病 (AD), 軽度認知障害 (MCI) における¹¹C] Pittsburg Compound-B (PIB) -PET と¹²³I]-IMP-SPECT の比較検討**
大阪市立大学 システム神経科学 安宅 鈴香
- A3 **脳血流 SPECT 検査を用いた意欲低下に関する検討**
杏林大学 高齢医学 園原 和樹

< 診断 >

10月7日(土) 11時00分～12時00分

- B1 アルツハイマー病の早期診断におけるMRI, 脳血流SPECT, FDG-PET, 脳脊髄液マーカー検査の有用性の比較
金沢大学大学院 医学系研究科 脳老化・神経病態学(神経内科) 森永 章義
- B2 特発性正常圧水頭症患者髄液中のtau, Aβおよびα-synucleinの検討
京都府立医科大学 神経内科 徳田 隆彦
- B3 レビー小体型認知症の薬物点眼試験
東京医科大学 老年病科 平尾 健太郎

< シヌクレイン(3) >

10月7日(土) 11時00分～12時00分

- C1 遺伝性Lewy小体病を表現型としたpresenilin-1変異(T440)による*in vivo*および*in vitro*におけるα-synuclein蓄積の検討
新潟大学 脳研究所 神経内科
新潟大学 脳研生命科学リソース研究センター 金子 博之
- C2 二重変異シヌクレイン(A30P+A53T)トランスジェニックマウスの作製と解析
群馬大学大学院 医学系研究科 脳神経内科 池田 将樹
- C3 α-Synuclein 遺伝子重複を認めた遺伝性Lewy小体病の分子遺伝学および生化学的解析
新潟大学 脳研究所 神経内科
新潟大学 脳研究所 生命科学リソース 志賀 篤

< 変性・タウ >

10月7日(土) 11時00分～12時00分

- D1 マウス脳における新規タウ-アンチセンス遺伝子の定量的解析
理化学研究所 脳科学総合研究センター アルツハイマー病研究チーム 上野 瞳
- D2 野生型ヒトタウタンパク過剰発現マウスにおける加齢依存性学習障害を引き起こすリン酸化タウの分布と脳活動の解析
理化学研究所 脳科学総合研究センター アルツハイマー病研究チーム 福田 哲也
- D3 Semantic dementia が疑われた前頭側頭型認知症の1剖検例
愛知医科大学 加齢医科学研究所 神経病理 吉田 真理
- D4 発症早期より認知機能障害をみとめた多系統萎縮症の検討
鳥取大学 医学部 脳神経内科 周藤 豊

< プレセニリン・セクレターゼ(3) >

10月7日(土) 11時00分～12時00分

- E1 γセクレターゼによる膜内蛋白分解部位の揺らぎの仕組みとその効果
大阪大学大学院 医学系研究科 大河内 正康

- E2 Presenilin/ γ -secretase によるインスリン受容体の切断および細胞内局在に及ぼす影響
新潟大学 脳研究所 神経内科
新潟大学 脳研 生命科学リソース 春日 健作
- E3 新規プレセニリン複合体構成因子TMP21の細胞内分布
東京医科歯科大学大学院 脳神経病態学 三條 伸夫
- E4 N-カドヘリンとプレセニリン結合の制御に関する細胞生物学的検討
京都大学 医学部 先端領域融合医学研究機構 植村 健吾

< 治療 (2) >

10月7日(土) 11時00分~12時00分

- F1 In vitro および in vivo における牡丹皮抽出エキスによるアミロイド蛋白の凝集制御機構の検討
東北大学大学院 医学系研究科 先進漢方治療医学 藤原 博典
- F2 A-beta 結合性化合物FSBによるアミロイドプラーク形成の阻害
理化学研究所 脳科学総合研究センター 神経蛋白制御研究チーム 末元 隆寛
- F3 新規脳内 クリアランス経路を標的としたアルツハイマー病治療の可能性
国立長寿医療センター研究所 アルツハイマー病研究部 松原 悦朗
- F4 $A\beta$ に結合し、細胞死を誘導するタンパク質, AB-DIP による神経細胞死機構の解明と抑止法の開発
国立長寿医療センター研究所 武田 和也
- F5 $A\beta_{42}$ は $A\beta_{40}$ に比し離散しにくい
大阪大学大学院 医学系研究科 臨床遺伝子治療学
大阪大学大学院 医学系研究科 老年・腎臓内科学 石本 美穂
- F6 アルツハイマー病に対する遺伝子治療
大阪大学 大学院医学系研究科 老年・腎内科
大阪大学 大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学 竹内 大亮

< AD・病態 (2) >

10月7日(土) 11時00分~12時00分

- G1 アルツハイマー病の症例の抗コリン負荷は炎症と関係する
昭和大学横浜市北部病院 メンタルケアセンター 堀 宏治
- G2 APOBEC1 遺伝子 Met80Ile 多型は血漿 HDL コレステロールに影響し, 男性アルツハイマー病の遺伝的リスクとして発症年齢に関係する
大阪大学大学院 医学系研究科 情報統合医学講座 精神医学部門 紙野 晃人
- G3 アポリポ蛋白 E アイソフォーム依存的 HDL 産生機構の検討
国立長寿医療センター研究所アルツハイマー病研究部 源川 博久

<血管障害>

10月7日(土) 11時00分～12時00分

- H1 CADASIL 脳の微小血管に蓄積する Notch3 の解析
国立長寿医療センター 研究所 血管性認知症研究部 渡邊 淳
- H2 CADASIL 発症における脳虚血の関与
国立長寿医療センター・血管性認知症研究部 吉崎 嘉一
- H3 ラットを用いた脳梗塞後認知機能障害に対するフルバスタチンの効果の検討
大阪大学 医学系研究科 臨床遺伝子治療学 篠原 充
- H4 百歳老人32例の脳血管アミロイドーシスの検討
名古屋市厚生院 神経内科
名古屋市立大学 医学部 神経病態学
愛知医科大学 加齢医科学研究所 神経病理 岩瀬 環

<臨床(2)>

10月7日(土) 11時00分～12時00分

- I1 認知症を呈した統合失調症慢性期の患者に対して、塩酸ドネペジルと抑肝散の併用が著効した4例
金沢医科大学 精神神経科学教室 鴨田 佐知子
- I2 認知症の精査入院とその効果について
筑波大学 臨床医学系 精神医学 谷向 知
- I3 MCI及び軽度アルツハイマー型認知症に対する認知リハビリテーション効果の検討
金沢大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 菅野 圭子

<臨床(3)>

10月7日(土) 11時00分～12時00分

- J1 「ものわすれ外来」における認知症と重心動揺検査での視覚補正機能との関係
敬仁会 桔梗ヶ原病院 神経内科 中居 龍平
- J2 認知症例の高齢者総合機能評価を用いた縦断解析による「もの忘れ外来」の効果と課題
杏林大学 医学部 高齢医学教室 山田 如子
- J3 群馬県もの忘れ検診の取り組みー5年間のまとめ
前橋赤十字病院 神経内科 針谷 康夫
- J4 広島の「成人健康調査」集団における認知症の発症：過去の被爆との関連
翠清会 梶川病院 脳神経内科
放射線影響研究所 三森 康世
- J5 鳥取県大山町における認知症を伴うパーキンソン病の疫学
鳥取大学医学部 脳神経内科 山脇 美香

<臨床(4)>

10月7日(土) 11時00分~12時00分

- K1 認知症と診断される生活機能障害
杏林大学 医学部 高齢医学 小林 義雄
- K2 認知症介護に携わる専門職が持つ認知症・健常高齢者へのイメージ - BPSD への負担感との関連 -
川崎医療福祉大学 医療福祉学部 臨床心理学科 奥村 由美子
- K3 アルツハイマー型認知症高齢者の介護者に対するマインドフルネスの効果
岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 精神神経病態学 阿多 敏江